３．第２四半期の経営成績、連結財務諸表等

【損益の状況】

	2006 年度 第２四半期	前年同期比増減率
売　　上　　高	12,594 億円	8.0 %
国　　内	8,144 億円	3.4 %
海　　外	4,450 億円	17.7 %

	2006 年度 第２四半期	前年同期比
営　業　利　益	360 億円	33 億円

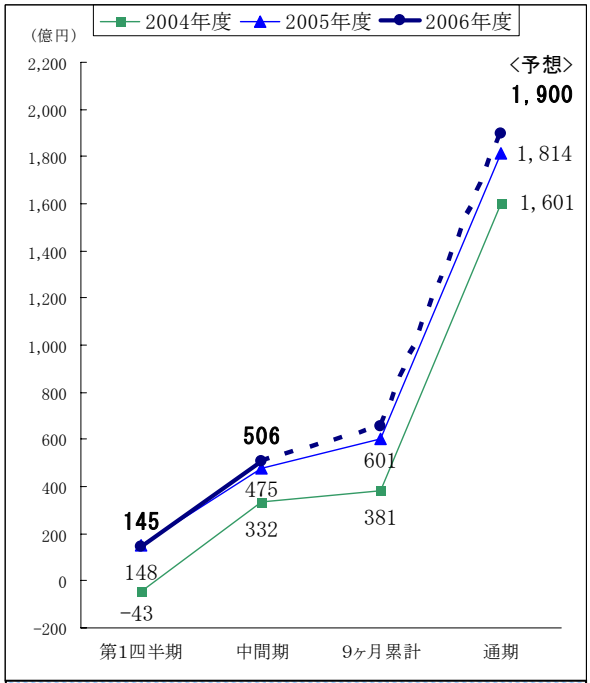
第２四半期の売上高は１兆２，５９４億円で、前年同期比８．０％の増収です。四半期開示を行っている２００１年度以降では過去最高の成長率となりました。

海外はアウトソーシングなどのサービスビジネスが好調に推移するとともに、ＨＤＤ、光伝送システム、ＵＮＩＸサーバなども伸長した結果、前年同期比１７．７％の増収です。国内はソリューション／ＳＩ事業が金融や製造・流通分野を中心に増収となったほか、ＬＳＩや電子部品、携帯電話なども増収となりました。

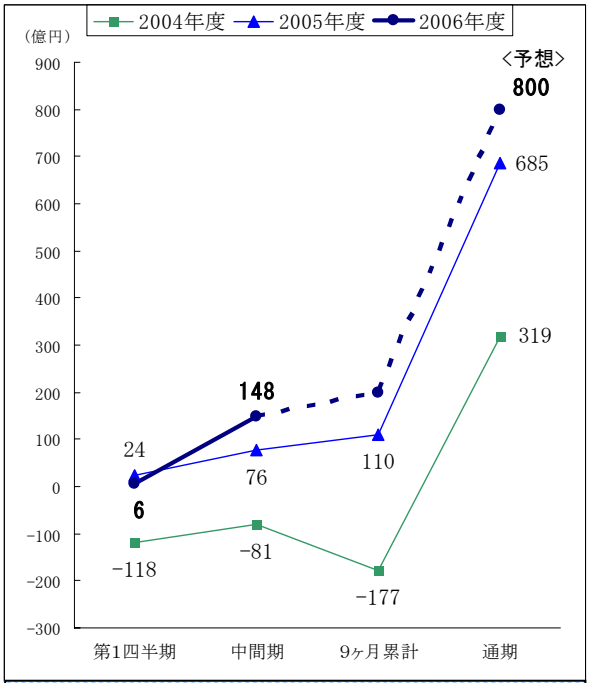
営業利益は３６０億円で、前年同期比３３億円の増益となりました。グローバル市場に展開する光伝送システム、サーバ関連などで価格競争の激化が続きましたが、アウトソーシングなどのサービスビジネスが海外を中心に好調を維持していることに加え、ソリューション／ＳＩ事業やＨＤＤ、携帯電話などでの増収効果やコストダウンの推進などにより増益となりました。

営業外損益では、退職給付積立不足償却額の負担が７億円と、前年同期の８２億円から大幅減となりました。昨年９月に行った年金制度改訂と前年度末の株価上昇によります。また、持分法による投資損益も改善し、経常利益は３１３億円と、前年同期比１５９億円の増益となりました。

当期純利益は１４１億円で、前年同期比９０億円の増益となりました。



累計営業利益の推移



累計純利益の推移